

# 技術会議における地下施設の有効活用提案の評価について

公募により提案された建物下の地下空間の有効活用案について、地下施設の有効天井高 2.5 m のケースを想定し、検討を行った。

## 1 地下利用の方法

- ・ AP+2 m より上に地下施設を設けると、地下施設の有効天井高（梁下）が 2.5 m しか確保できないため、トラック等業務用車両の利用は困難であり、用途としては、通勤駐車場及びターレット（小型運搬車両）置場（業界要望）に限定される。
- ・ 地下施設の建設規模は、街区ごとの卸売場及び仲卸売場の地下部分とする。

5 街区	3 ha
6 街区	4 ha
7 街区	3 ha
<hr/>	
合計	10 ha

## 2 地下利用の効果

- ・ 地上部に予定していた施設を地下空間に収容することにより、将来利用可能な市場用地面積を生み出すことができるかを街区ごとに検討した。

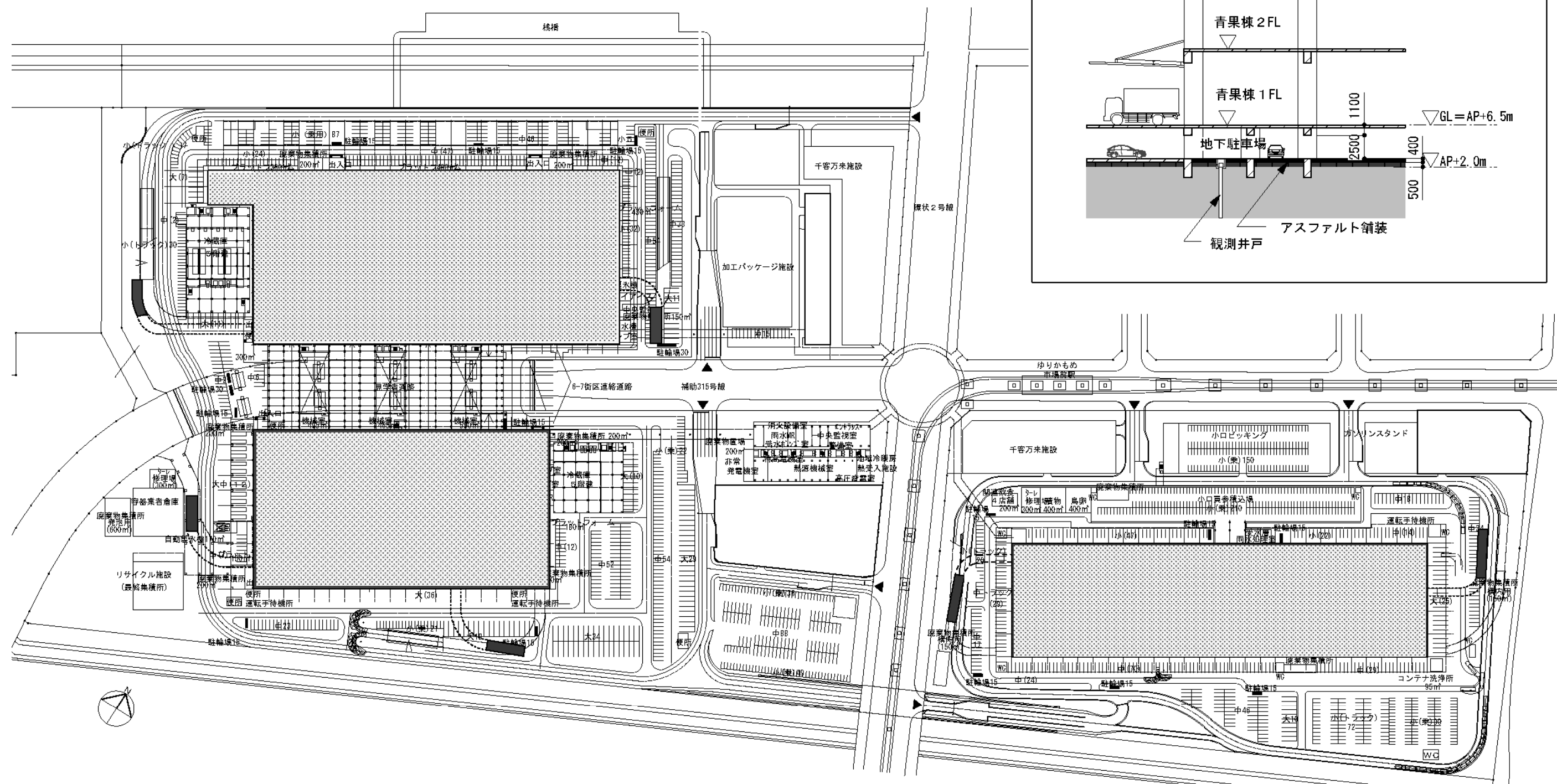
### 3 コスト

初期投資

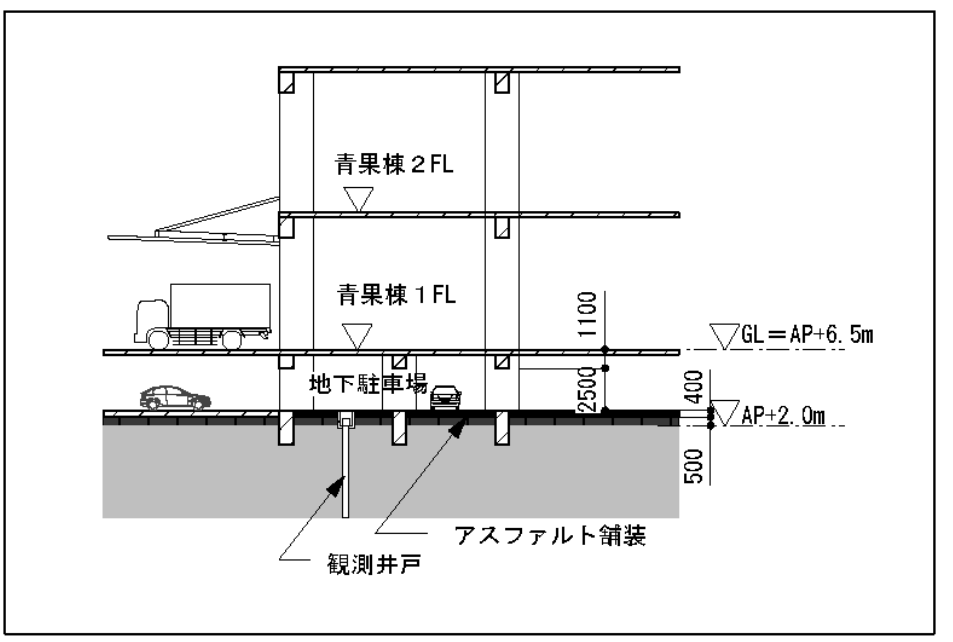
### 4 地下利用の問題点

- ・ 建物の建設工期が約 1 年延伸する。
- ・ 専門家会議において、揮発性有機化合物が建物内に入る恐れがあるため、地下施設はつukらない方がよいという指摘があり、ターレット置場を地下から地上へ変更した経緯がある。

6街区売場面積:4.0ha



7街区売場面積:3.0ha



5街区売場面積:3.0ha

平面図 S=1/3000